

韓国遠征（第3戦）

2015年3月10日 15:00～16:20

Taeneung Training Center（韓国・ソウル）

日本1-4 韓国

（第1クォーター0-0、第2クォーター0-0、第3クォーター0-2、第4クォーター1-2）

【得点】

35分 FG：韓国

38分 FG：韓国

49分 FG：韓国

53分 PC：韓国

54分 FG：三谷元騎

【スターティングメンバー】

GK：新本優

DF：粥川幸司、山下学、長澤克好、膳棚大剛

MF：塩川直人、小野知則、星卓

FW：田中健太、三谷元騎、藤本一平

【サブメンバー】

GK：高橋優成

DF：佐々木拓郎

MF：川上良平、山部晃嗣、落合大将

FW：北里謙治、宮崎俊哉、小沢諒

【DNP】

村田和麻

【交代】

4分：佐々木拓郎

5分：川上良平、山部晃嗣

6分：落合大将、宮崎俊哉、小沢諒

38分：北里謙治

57分：高橋優成

【マッチレポート】

第1クォーター、第2クォーターともにややゆったりとした試合の流れの中、両国何度か攻め込むが、1本ずつ得たPG攻撃も実を結ばず、前半を0-0で折り返す。

第3クォーター韓国は前線からのプレスを仕掛けることで試合の主導権を握ると、35分ロングコーナーから一旦味方に預け、すぐにボールをサークルに流し込むと、ゴールほぼ正面からリバースシュートを決める。38分日本は韓国の中盤からのサークル内へのロングパスを許すと、最後はオーバーラップを仕掛けた選手に決められてしまう。

最終第4クォーターに入っても、一度韓国に傾いた流れをなかなか変えることができず、49分レフトから中央へのドリブル突破から、ゴール左下へのヒットシュートを決められる。53分にはカウンターアタックからPGを奪われると、ドラッグフリックシュートから4点目を奪われる。54分日本は韓国の畳み掛けにくるプレスの逆サイドへ粥川がスクープでパスをすると、三谷が一気にスピードに乗ったドリブルから韓国陣内に攻め込み、川上、宮崎と渡ったボールを再び受けた三谷がブッシュシュートを決め、ようやく1点を返す。この1点で勢いに乗り追加点を奪いたい日本であったが、その後は韓国の堅い守備を崩すことができず、このまま1-4で試合終了となった。